

# 石川県防災会議（議事要旨）

## 1 日時

平成25年5月22日（水）10時00分から10時45分

## 2 場所

石川県庁行政庁舎 11階 1105会議室

## 3 出席者

防災会議会長（谷本知事）ほか委員55人

## 4 議題

- ① 石川県地域防災計画の修正（案）について
- ② 平成25年度石川県水防計画（案）について

## 5 議事要旨

### (1) 議事概要

会長（谷本石川県知事）のあいさつに続き、会長が議長となって議事に入った。

議題①「石川県地域防災計画の修正（案）について」、議題②「平成25年度石川県水防計画（案）について」について、事務局から説明し、質疑応答の後、原案のとおり承認された。

### (2) 室崎委員（震災対策部会部会長）による補足説明要旨

- ・今回の見直しのポイントは、東日本大震災の教訓を踏まえ、これを受けて地域防災計画に反映させることである。東日本大震災のキーワードは、「巨大」、「広域」、「複合」、「想定外」であり、そのキーワードを盛り込み、今回、防災会議に修正案を諮ることができた。
- ・まず、「巨大」について、巨大災害が発生した場合、従来の行政間のコミュニティ体制では十分に対応できないので、民間事業者、ボランティア等の能力を活用することが必要である。
- ・2点目の「広域」について、市町・都道府県の区域を越えた被災者の受入れは、協定を締結するなど、広域的な応援体制を強化することも盛り込んである。
- ・3点目の「複合」について、複合災害が発生した場合に、限られた資源の配分に関して考えていかなければならない。
- ・4点目の「想定外」について、想定外の不足の事態に対応するため、白山の火山防災対策や緊急輸送道路ネットワークも修正した。
- ・また、震災対策部会において、地域の中で、災害教訓の伝承についての取組みを推進してほしいという意見があり、今後も災害の教育、伝承に力を入れていただきたい。

### (3) 質疑応答の要旨

- ・意見：石川県社会福祉協議会評議員・輪島市社会福祉協議会常務理事兼事務局長  
（七尾委員）

私のところには、能登半島地震の時、民生委員さんが地域の方々と手を取り合っていたことを聞かせてほしいという要望があり、それにキチンと答えていくことが私の役割だと思い、伝えるということをやっています。伝承の中で自助についても考えることが、私は伝承の中の重要なポイントでないかと思います。

また、今では、私たちがどうやって元気を取り戻したのかを聞かせてほしいという要望もあります。

そのようなことから、教訓の伝承を明記されたことは、大変意義深いことだと感じています。

・ 回答：会長（谷本知事）

自助・共助の経験をどう伝承していくのか。行政も公助という立場があるので、公助をうまく伝承していくことも同じように問われている問題であると思う。能登半島地震の際にも、救援物資を被災地のニーズに合わせて送付する。ボランティアは、被災地のコーディネーターの指示に従って、被災地の支援にあたる。そのようなことは、一つ一つ経験として大事にしていかなければならないと思っている。

・ 意見：石川県災害ボランティア協会事務局長（木下委員）

防災士、ボランティアコーディネーターの人数は増加しているが、実際に活動している方は少ないと感じている。もっとスキルアップすることがとても大事だと思っているので、県のご指導をお願いします。

・ 回答：会長（谷本知事）

防災士の養成は確かに重要なことである。防災士を養成し、スキルアップをしていただく。そのような取組みを行政と一緒にやっていく必要がある。

・ 意見：石川県消防長会会長（代理）

緊急輸送道路ネットワークについて、2点質問があります。

今回の見直しにより、病院と消防署、これらの救命・救急の活動の拠点が、よりランクの高い第1次緊急輸送道路で接続するよう格上げされたことで、救命・救急活動にどんな効果があるのか。

また、今回の修正で、緊急輸送道路全体として、延長はどのように変化していくのか。

・ 回答：鈴木土木部長

緊急輸送道路ネットワークは、1次、2次、3次と緊急輸送道路がランク分けされており、1次、2次、3次の順に優先度が高い。1次路線を最優先とし、1次路線上にある橋梁の耐震化、道路の法面・斜面の落石対策というものを優先的に進めてきた。また、万が一地震が起きた場合には、初期活動として、1次、2次、3次の優先度が高い順にパトロールをして、優先的に交通が確保できるようにする。

今回の路線の見直しにより、災害拠点病院、消防署、警察署等の救急・救命活動の拠点到達する道路が、今まで2次であったものが1次に格上げされたことで、より優先的に交通が確保されることから、地震時の救命活動に大きな効果があると考えている。

延長は、もともと1次、2次、3次全部で1450kmぐらいあった。

今回の見直しで、1次路線は、2次路線であったものが1次路線にランクアップしたものがあり、従前よりも約100km増えて、700kmであったものが800kmになった。

2次路線は、1次路線にランクアップした関係で減少となり、550kmだったものが60kmの減少となった。

3次路線の変更の多くは、津波のときに浸水してしまう路線の代替路線として追加指定したものであり、130kmぐらい増えている。

全体では、1次、2次、3次で1450kmから1620kmに170km増加している。